

公表

放課後等デイサービス勤務事業所における職員評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス あおぼの杜		公表日		年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・大人数になると相乗効果で不安定気味になる方もいますので、外へ出たりホールを活用しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	・現在職員数は確保されていますが、既定の休みを入れると手薄になる日もある為、その日は特に安全を意識しながら支援しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		・構造化出来ていない所がある為、改善が必要です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・室内や送迎車両、玩具の消毒や掃除をし感染症予防に努めています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・宿題や音楽療法、運動プログラムは別室を使用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	・個別支援計画作成会議に全職員参加で検討しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年、自己評価を行いホームページで公開をしている。・保護者等から意向を伺い、改善できる場合は速やかに改善をしている。改善できない場合は、理由を説明し、理解を得るようにしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎日の引き継ぎ時間やGMなどで話し合っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		・第三者評価は行っていないため、今後の課題です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・出張や施設内研修、職員会議などで行っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・令和6年12月にHPIにて公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・半年毎に見直しをしています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・個別支援作成会議で検討しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・令和6年度から新しいアセスメントと計画書を使用しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・ツールを用いたフォーマルなアセスメントは出来ていません。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・ガイドラインに従い、5領域の個別支援計画と支援内容を設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・児発管・保育士・児童指導員がチームになり立案をしています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・今年度、音楽療法と運動プログラム、生け花を始めています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・音楽療法は個別が良い方、集団での方と分けています。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・大筋は決まっているが具体的な打ち合わせは出来ていません。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・長期休みのみ行っています。 ・上記以外は翌日の朝に引継ぎをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・毎日の記録は日誌と個人のケース記録に入力し翌日へとつなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・モニタリングをし計画が不十分な方については早めの見直しも検討するようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	0	・音楽療法、運動プログラム、制作活動、歩行、施設外活動等を組み合わせ合わせて支援をしています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・絵カード、文字、現物を使い自己選択できるような方法やメニューを提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	・相談支援専門員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		・現在は出来ていないため、今後の課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	・送迎時に学校からの引継ぎを確実にしている。ホームページや学校だよりからも情報を得ている。学校でトラブル等があった場合は、保護者に引き継いでいます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	・保護者に同意を得たうえで情報提供を相互に行い、連携をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	1	・同事業所の相談支援専門員が行っています。情報共有はしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	・困難事例について助言を受けたり発達障がい者支援センターの研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		・現在交流が出来ていないので今後検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	・同事業所の相談支援専門員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時に、確実に伝えていきます。 ・電話・電子メール・連絡帳などで報告し情報共有をし共通理解を持つようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	・保護者からの相談に応じているが、ペアレントトレーニングは行っていません。家族支援プログラム等の研修には参加しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		・十分に出来ていない為、今後行っていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・個別支援計画作成時に意向確認をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・半年毎に行っています。変更点がある場合は半年を待たずに変更して同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・随時、相談に応じ、可能な限りの助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4		・現在開催出来ていないので検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情が出た場合、改善できる時は速やかに改善をしています。改善できない場合は、理由を説明し理解を得るようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・広報誌・ホームページ・社からのお知らせ・電子メールなどで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・毎年、年度当初に保護者に確認し、文書で回答を得ています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・自分の意見を言うことができる利用者からは直接伺い、意思疎通が難しい利用者は保護者の方に向っています。聴取方法は、書面・電話・電子メールなど、意思疎通をしやすい方法になるように配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		・現在開催出来ていないので検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを作成し、職員に周知しています。	・ご家族に周知が出来ていないので検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・災害時の避難訓練は行っています。	・非常災害時の訓練も行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・ご利用前の面談時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・食物アレルギーの方はいらっしゃいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・チェックリストを作成し毎月見直しをしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		・周知が出来ていないので検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットは日誌に記入し、情報共有をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・毎月虐待防止委員会を開催したり研修会に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	・身体拘束はありません。		